

スタディ・グループ中間報告

申請課題名：地域課題の解決を主導するリーダー育成教育に関する研究

研究期間：～2023年3月

メンバー：松本大吾（青森大学）

堀籠崇（新潟大学）

飛鳥由美子（青森大学）

1. 課題の概要

近年多くの大学において、地域課題を題材として産学官民が協働でその解決に向けた実践を行ないつつ、同時に学生の学習動機への結びつけを目指す取り組みが進められている。こうした取り組みは、学生の課題発見能力、探究能力、実践力、コミュニケーション能力といった大学教育において基礎となる総合的な学習リテラシーの育成を視野に入れたものであり、その後の大学での学びの深化（専門の学びへの接続）に向けた基礎的な意味合いを含んでいる。プラグマティックな学問としての経営学は、本来そうした学習の中核であってしかるべきであるものの、そうなっていない現状がある。それは「地域」と「経営学」とが融合した「地域経営学」の具体的教育方法論が必ずしも確立しているとは言えない点に起因すると思われる。

そこで本スタディ・グループでは、地域課題の解決を主導するリーダー育成のための具体的な地域経営学教育について、所属機関を異にする複数の研究者の勉強会、地域で活躍するリーダーへのインタビュー等を通じて、具体的な教育手法の開発のために乗り越えるべき課題および必要とする要素について探究する。とりわけ、COVID-19のパンデミック以降、高等教育におけるICTを活用した非対面型の教育が急速に進展してきているが、地域を足場に展開される地域経営学教育にあって、オンライン教育の効果と課題、有効な活用方法についての検討は喫緊の課題であるといえる。それゆえ本共同研究における研究方法としては、大学、ゼミ間を横断し、オンラインツールを有効に活用しながら、課題解決型教育を実践的（実験的）に行い、その効果を検証する方法（アンケート等を通じて、事前・事後での学生の能力変化を分析する）を採る。

2. これまでの活動報告

本スタディ・グループ研究会を以下の要領で実施した（Zoomによるオンライン開催）。

◆ 第1回研究会 2021年7月13日（火）

初回打ち合わせとして、研究の方向性について意見交換を行った。

◆ 第2回研究会 2021年8月31日（火）

研究ノート（松本の共著）に関する報告および先行研究・参考資料に基づく議論を行った。

◆ 第3回研究会 2022年3月17日（木）

「人材力活性化研究会」（総務省）をもとに地域づくり活動のリーダーについての勉強会および地域活動のリーダー育成に関するインタビューにかかる結果報告（堀籠）を行った。

◆ 第4回研究会 2022年3月29日（火）

学生を対象としたアンケートの検討（調査項目、倫理審査対策等）、インターゼミの進め方について意見交換を行った。

3. 今後の活動予定

2022年度の活動予定は以下のとおりである。

時期	活動内容
2022年4月～5月	① メンバーのゼミ生を対象として、学習に取り組む前段階での能力を測定。 「社会人基礎力」(経済産業省)および「地域づくり活動のリーダーに求められるスキル」(総務省)に関するアンケート調査の実施および調査結果の集計。
2022年6月	② 地域リーダーに必要とされる能力の抽出・検討。 地域活動に取り組む若手リーダーへのインタビュー調査。
2022年7～8月	③ ①・②を基に、インターゼミの授業デザイン設計。 スタディ・グループメンバーによる勉強会および必要に応じて外部ゲストを招聘してのセミナー開催。
2022年9月～10月	④ インターゼミの実施 ゼミ修了後、①と同様のアンケートをゼミ生に対して実施し、学習後の能力を測定。
2022年11月	⑤ スタディ・グループ最終報告に向けた総括 上記調査結果について考察を行い、教育手法の効果を検証。

4. 研究業績

スタディ・グループメンバーの申請課題にかかる2021年度の活字業績および口頭報告は以下のとおりである。

(1) 論文

- ①堀籠崇「ポストコロナ時代を見据えた人材育成に関する試論」『学問六縁』国際経営文化学会, pp.27-37, 2022年3月.
- ②堀籠崇「グローバルテクノロジー時代に向けた人材育成—学習者と地域社会との『共創』的教育手法の開発に向けた構想—」『創生ジャーナル Human and Society』5巻, pp.4-8, 2022年3月.
- ③堀籠崇「学際的実践知としての地域経営学の構想のために」『創生ジャーナル Human and Society』5巻, pp.128-137, 2022年3月.

(2) 研究ノート

- ①櫛引素夫、松本大吾、澁谷泰秀「青森大学におけるオンライン授業の課題と可能性-総合経営学部・社会学部における実践から-」, 青森大学総合研究所紀要第23巻1号, pp.11-21, 2021年9月.

(3) 報告要旨

- ①堀籠崇「DX時代における人材の育成—その課題と可能性—」地域経営学会 News Letter (第1号), pp.8-9, 2021年6月.
- ②松本大吾「青森大学におけるオンライン教育の現状と課題」地域経営学会 News Letter (第1号),

pp.7-8, 2021 年 6 月.

(4) 口頭報告

- ①松本大吾「ICT に関連する取り組み事例・課題等の紹介」令和 3 年度青森大学冬季教職員研修会『青森大学の 3 キャンパス体制に伴う ICT 化の展望と課題』2022 年 2 月 2 日.
- ②堀籠崇「ポストコロナ時代を見据えた人材育成に関する試論」国際経営文化学会第 26 回大会, 2021 年 12 月 18 日.
- ③堀籠崇「新潟大学創生学部における教育課程と教育方法の特色および各種連携教育」地域経営学会第 5 回大学間連携に関するオンライン研究会, 2021 年 11 月 29 日.
- ④松本大吾「本学における遠隔授業の振り返りと今後の課題」青森大学総合研究所 Café 総研, 2021 年 11 月 26 日.
- ⑤堀籠崇「グローバル地域経営の視角からの観光まちづくり」第 1 回新潟大学・地域共創支援活動オンラインセミナー・シーズ発表会, 2021 年 9 月 29 日.
- ⑥松本大吾「青森大学の大学間連携（高大連携を含む）による大学教育の質保証」第 2 回大学間連携に関するオンライン研究会, 2021 年 9 月 27 日.
- ⑦堀籠崇「DX 時代における人材の育成－その課題と可能性－」地域経営学会第 39 回研究会, 2021 年 5 月 8 日.
- ⑧松本大吾「青森大学におけるオンライン教育の現状と課題」地域経営学会第 39 回研究会, 2021 年 5 月 8 日.